



【発行】 済生会川俣病院

〒960-1406 福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字川端2番地4

かわはた



クリーン活動 令和7年9月撮影

< 目次 >

- P2 ~ドクターコラム~ 一蚊媒介感染症について
- P3 ~地域連携室~ 「第9回済生会川俣病院地域医療福祉連携懇話会」
- P4.5 ~研修医コラム~
- P6 ~緩和ケア委員会便り~ 死について考えてみましょう
- P7 ~保健師ニュース~ むくみ 気になりませんか？
- P8 ~診療予定表~



ホームページはこちらの
QRコードよりご覧いただけます

~インフルエンザ予防接種のご案内~

インフルエンザワクチン・新型コロナワクチンの予防接種が始まりました。
ご希望される方は、内科外来または総合受付へお申し出ください。

※15歳未満の方の接種は行いません。

※新型コロナワクチンの接種は【事前予約制】です。



Dr. コラム～蚊媒介感染症について～

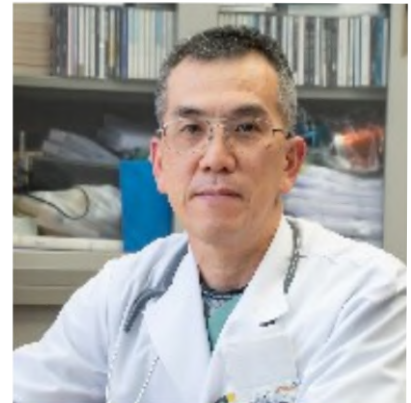


長かった夏もようやく終わり、最近はだいぶ涼しくなってきました。今年の夏は「蚊が少なかった」と感じた人が多かったようです。その背景には、猛暑による「蚊の夏バテ現象」があるとのこと。しかし専門家は「秋以降に発生数がピークを迎える」と警告しています。

蚊は人間を最も多く殺している生物です。全世界で年間70万以上の死亡例があります。世界中に約3500種、日本には約110種が生息しています。国内の感染症媒介蚊はシナハマダラカ、コガタアカイエカ、ヒトスジシマカ、アカイエカが代表的です。

蚊媒介感染症にはマラリア、デング熱、日本脳炎などがあります。（蚊媒介感染症の中で、日本脳炎以外はほとんどが輸入感染症です。）マラリアの媒介蚊はハマダラカで、日本には12種が分布しています。日本でも昔、3日熱マラリアや熱帯熱マラリアが流行していた時代がありました。デング熱の主な媒介蚊はネッタイシマカとヒトスジシマカです。ネッタイシマカは世界の熱帯地域に分布しています。国内では1970年に絶滅しましたが、2012年以降は複数の国際空港の敷地内で卵や幼虫が見つかっています。ヒトスジシマカは、アカイエカと同様に日本で多くみられる蚊です。デング熱は国内で1942年～1945年に20万人以上の患者が発生しましたが、それ以降は輸入症例のみでした。しかし2014年、東京都の代々木公園を中心に162人の国内感染例が報告されました。日本脳炎は、日本では主にコガタアカイエカが媒介します。患者発生数は著明に減少しており、1992年以降（2016年を除く）は年間10人以下です。

2020年からの新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い、輸入感染症は激減していました。しかし今後、蚊媒介感染症を含めて輸入感染症が流行する可能性が高まっており、注意が必要です。



診療部長 佐々木俊教



第9回「済生会川俣病院地域医療福祉連携懇話会」開催

地域連携室 伊藤和代

令和7年7月15日(火)、地域の医療、介護、福祉関係者の皆様方と「顔が見える連携」の場として57名が参加し、第9回「済生会川俣病院地域医療福祉連携懇話会」を開催しました。川俣町医師会長 鈴木秀先生より挨拶をいただき懇話会がスタートしました。

第1部は、渡辺浩志院長が「麻疹について」と題して歴史・検査・治療に至るまでの症例を講演し、続いて3階病棟 副主任看護師 菅野藤智が「災害支援ナースの役割」と題して近年の災害歴やナースの活動、ナースに求められることを実際の体験を踏まえ講演しました。

第2部では歓談を通して各施設の代表者の方から近況についてご報告いただき、数田良宏内科部長の挨拶にて閉会しました。

今後も、このような機会を通じて地域連携を大切にし、いたわりの医療で地域を支えていきます。



川俣町医師会長 鈴木秀



センター長 佐久間博史



院長 渡辺浩志



副主任看護師 菅野藤智



令和7年度地域医療研修を終えて

-済生会中津病院・済生会横浜市東部病院 研修医の先生方より-

今回の地域医療研修で印象に残ったこと・そこから学んだことなどを、各先生方から感想をいただきましたのでご紹介します。

訪問診療や訪問看護では、原発事故の被害にあった地域や山間部にあり病院まで行くことができない患者さんの診療を見学させていただきました。普段都市部では感じるような場所・環境で診療することで地域医療の実態を学ぶことができました。南東北シルクロード館や川俣光風園での診察も見学させていただきました。数多くの患者さんを限られた医師数で交代しながら診察・処方をされており、将来地域医療に自分自身も貢献できたらなという気持ちが湧きました。

透析の遠隔診療では、福島県立医科大学附属病院とオンラインで実際に情報を共有しながら診察を行っていました。遠い地域にいても大学病院などの大きい病院と連携をとって診療することはとても便利であり、患者さんにとっても負担が軽減するのでとてもいい試みだなと感心しました。眼科の手術にも何度か参加させていただきました。いままで眼科の手術に入ることがなかったので初めての経験でした。上級医の先生にマンツーマンで手術の内容について教えて頂きとても勉強になりました。



済生会中津病院
佐々木頼応

～研修風景～



今回の地域医療研修では、地域に根ざした医療の姿を実際に体験できたこと、また東日本大震災による原子力発電所の事故の影響が今も住民の生活に残っていることを感じました。

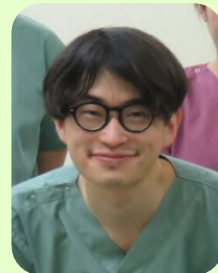
川俣病院の医療が単なる治療にとどまらず地域社会全体を支えていると強く実感しました。限られた医療資源の中で住民生活に寄り添い、生活や背景を含めて接する姿勢から地域医療の本質を学ぶことができました。



済生会中津病院
西川昂宏

まずは初めに、3週間貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

川俣病院での研修では、主に外来診療や訪問診療・訪問看護、関連施設の見学などに参加させていただきました。特に訪問診療・訪問看護は大変印象に残りました。普段の研修では病院に来られる方の診療ですので、病院に来ることが難しい方の診察・看護は初めての経験でした。例えば高齢者で独居の方、夫婦ともに足が悪い方、山奥に住んでいる方など様々な生活背景があり、必要とされる医療も変化することを実感しました。



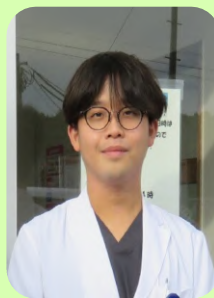
済生会中津病院
藤原史規

またスタッフの方々も本人の病状に加えて生活の状況や家族の事情なども把握されており、患者さんにとって適切な医療を受けられるように尽力されていることを知りました。私自身、学生・研修医で急性期病院の医療しか経験しておらず、川俣病院に来るまでは地域医療のイメージが掴めていませんでした。しかし今回の地域研修を通して地域医療の重要性、果たす役割の理解が深めることができました。今後の診療では患者背景も踏まえた上で、その患者さんにあった医療を行えるように今回の経験を活かしていきたいと思います。

最後に、初めての東北で不安もあった私を温かく迎えてくださった病院のスタッフの方々、川俣の方々には深く感謝申し上げます。短い間でしたが、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

川俣病院では周辺関係機関、施設などと連携をとり、患者さんそれぞれの背景も考慮しつつ医療が提供されています。その仕組みと、その中で川俣病院の先生方は各々の専門領域を活かしつつgeneralistとして活躍されている姿が印象的でした。

また訪問診療などを見学させていただく中で、在宅医療の仕組みや役割について学ぶことができたことも良い経験でした。地域に根差した医療のあり方について学ぶことができ大変有意義な研修でした。



済生会横浜市東部病院
近藤史孟

研修医の先生方、お疲れ様でした!!

死について考えてみましょう

訪問看護ステーション 所長 高野昌子

日本人は「死」に関する話をタブー視する傾向にあると言われてきました。しかし最近では終活が流行し、死について話すことに抵抗がなくなってきたように感じます。

自分が、どんな最期を迎えたいかを考えることは、どう生きるからを考えることにつながります。医療で最期のときに関わらせていただくと、ご本人がどんな最期を望んでいたのかわからないことがあります。それが在宅ですと、ご家族は限られた期間の中で、ご本人に代わり様々な選択をしなければならず、精神的な負担は大きくなります。最期を迎えた後も「あの選択でよかったのか」と葛藤するケースも少なからずあります。最期を迎えるケアは、老衰、病死であれば3つに分けられるので、それぞれのケアについて説明します。「自分だったら・・・」と考えるきっかけになればと思います。

1つ目は「**緩和ケア**」です。緩和ケアは、病気などで体の痛みや精神的苦痛などをやわらげるための医療行為を行うケアです。医師や看護師の他、さまざまな専門分野がチームを組み、苦痛を緩和させることに重点を置いています。ガンなどの病気の治療と並行しながら行われることもあります。

2つ目は「**看取り**」です。これは、点滴などの医療行為や延命措置は含まれません。「死」は自然なことであることを受け止め、その人が希望する最期を迎えられるように日常生活のケアに重点を置いています。「自宅で最期を迎えたい」とおっしゃる高齢者も多くいますが、その方の意思を尊重し生活を整える支援を行うことも、看取りに含まれます。ちなみに戦後は、殆どが病院で最期を迎えていましたが、2020年時点で、自宅、もしくは施設での看取りは3割程度となっています。

最後に「**ターミナルケア**」です。「終末期医療・看護」とも言います。死期が近くなった方に、点滴や酸素などの医療的なケアを行います。ターミナルケアの医療は病気の症状や終末期に出現する苦痛をやわらげ、最期の時間を有意義に過ごせることを目的とします。

災害、事故を除けば人の最期の場は病院か施設か在宅のどれかということになります。最期の場所をどこにするのか、延命を望むのか、痛みに対してどうして欲しいのかなど決めておくことで、自分が望む最期を迎えることができます。また、ご家族と話し合っておくことで、お互い何を望んでいるかを確認することができます。

定期的に、ご家族で、それぞれが、どんな最期にしたいかを話し合う機会をもってみるのはいいかでしょうか？





保健師 にゅんす



【むくみ】 きになりませんか？



◆【むくみの症状チェック】

○このような症状はありませんか？

- | | | |
|---|--------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 手足が冷たい | <input type="checkbox"/> 肩こり・首の痛みがある | <input type="checkbox"/> よく頭痛がする |
| <input type="checkbox"/> 疲れやすい、倦怠感がある | <input type="checkbox"/> めまい | <input type="checkbox"/> 立ちくらみがある |
| <input type="checkbox"/> 足のしびれを感じることがある | <input type="checkbox"/> 手や足にむくみがある | <input type="checkbox"/> 頻尿 |
| <input type="checkbox"/> 足がむくんで重い感じがする | | |

◆このような生活習慣に心当たりはありませんか？【むくみの原因】

- 同じ姿勢を長時間とっている
- 運動不足・無理なダイエット・筋力不足
- 塩分の取りすぎ
- アルコールの摂りすぎ
- 自律神経の乱れ
- 冷え
- 妊娠・生理（ホルモンバランスの乱れ）

◆【むくみの取り方～即効解消法～】

○ふくらはぎを使った運動をする

ふくらはぎの筋肉は、下肢の血液を心臓へと戻すポンプ機能を担っています。

仕事中であっても、かかとの上げ下げの運動などを行い、ふくらはぎの筋肉を刺激しましょう。

また普段から適度な運動を行い、ふくらはぎの筋肉を鍛えておくことも大切です。

○膝裏をマッサージする

膝の裏側には、リンパ管が集中しています。

片膝を立てた状態で、膝の裏側を指の腹で押します。

「イタ気持ちいい」くらいで30秒ほどキープするマッサージを毎日続けます。



◆食事に気をつけよう♪

○むくみが取れる栄養素を積極的に摂取しましょう

《カリウム》 ※カリウムは熱に弱いので生食可能なものは生で摂取すると効果的です。

・カリウムは、体内の水分量を適切に調整してくれます。

・海藻・果物・イモ類・豆類・肉類・魚介類

《ビタミン》

・不足すると脚気になるビタミンB1に加えて、ビタミンB2、B6を意識的に摂取しましょう。

身体の生理機能が整えられ、むくみの解消が期待できます。

◇ビタミンB1・B2を多く含むもの

・肉類・魚類・豆類・玄米・ライ麦パン・ごま・ナッツ・チーズ・ヨーグルト・卵類・穀類

◇ビタミンB6を多く含むもの

・肉類（特に牛・豚・鶏のレバー） ・魚介類（特にマグロ・カツオ）

《たんぱく質》

たんぱく質は摂取後、水分を引き付ける性質を持つアルブミンへと変化します。

・肉類 ・魚介類 ・乳製品 ・卵類 ・大豆製品



体調管理に気をつけて、冬を乗り越えましょう

参考サイト：医療法人社団 恵愛会 函館クリニック



外来診療予定表

令和7年11月1日 現在

休診日

日曜日、祝祭日、年末年始(12月30日～1月3日)、毎月第1・第3土曜日

		受付時間	月	火	水	木	金	土	
内科	一診	8:45~11:30	佐々木俊教	数田 良宏	佐々木俊教	大庭 敬	大庭 敬	大庭 敬 佐々木俊教 数田 良宏 第2・4・5 (交代制)	
	二診	8:45~11:30	角田理恵子	君島 弘子	渡辺 浩志	君島 弘子	第1・3・5 佐久間博史 第2・4君島弘子	佐久間博史 渡辺 浩志 第2・4・5 (交代制)	
	循環器	8:45~11:30		福島医大 (予約)				済生会福島 第2	
	リウマチ	8:45~11:30					福島医大 (予約)		
	午後	一診	13:00~15:30	佐久間博史	福島医大	数田 良宏	渡辺 浩志	君島 弘子	
		循環器	13:00~15:30		福島医大 (予約)				
		リウマチ	13:00~15:30					福島医大 (予約)	
外科	午前	8:45~11:30		福島医大	芳賀 志郎		済生会福島		
	午後	13:00~15:30		福島医大					
整形外科	午前	8:45~11:00	福島医大 (予約)		福島医大 (予約)			医大(予約) 第2・4・5	
泌尿器科	午後	13:00~15:30	山中 直人	山中 直人 (予約)	山中 直人 (予約)		山中 直人		
眼科	午前	8:45~10:30				福島医大 (予約)		福島医大 第4 (予約)	
	午後	13:00~15:00			福島医大 (予約)				
皮膚科	午前	8:45~11:00		福島医大 (予約)					



済生会川俣病院

電話 024-566-2323

FAX 024-566-2325

ホームページ <http://www.kawamata.saiseikai.or.jp/>

済生会春日診療所

電話 024-566-2707

FAX 024-566-2707

特別養護老人ホームはなづか

電話 024-566-2661

FAX 024-566-2665

介護老人保健施設めぐみ

電話 024-566-2661

FAX 024-566-2665

川俣町地域包括支援センター

電話 024-538-2600

FAX 024-538-2601

済生会かわまた居宅介護支援事業所

電話 024-566-2657

FAX 024-566-2658

済生会川俣光風園

電話 024-566-3221

FAX 024-566-3331